冬の安全を願って

小樽市立花園小学校の皆さんと 砂入りペットボトル制作 をしました！



完成した砂入りペットボトル



コカ・コーラリテール＆ベンディング株式会社の担当者の話を聞く児童たち



砂詰め作業の様子

小樽開発建設部は、地域住民や観光客の冬道歩行を支援するため、令和8年10月22日に小樽市立花園小学校5年生と協働して滑り止め用砂入りペットボトルを制作しました。

この取り組みは、児童たちが地域の安全や環境、社会貢献について学ぶ総合的な学習の一環として行われており、今年で14年目を迎えます。

今回ペットボトルへの砂詰めを行い、冬には完成したペットボトルを活用して、観光客と交流を図りながら実際に路面への砂まきを実施する予定です。

使用するペットボトルは、参加児童の家庭から持ち寄った再利用ペットボトルのほか、包括連携協定を結ぶ北海道コカ･コーラリテール＆ベンディング株式会社から提供されたものです。

※一部生成AIを用いて作成しています。

砂入りペットボトルができるまで

1 道路について学ぼう



砂詰め作業の前に、小樽開発建設部の職員から、道路の役割や道路を支える仕事について、スライドを用いた授業を受けました。

児童たちは、道路や道路に関わる仕事について学ぶとともに、自分たちが暮らす小樽のまちと冬の生活との関わりについても理解を深めようと、真剣な姿勢で話を聞いていました。

2 ラベルを貼る



児童たちが事前に色付けした小樽市の観光名所のイラストを、世界に一つだけのオリジナルラベルに仕上げ、ペットボトルに貼り付けます。ペットボトルはコカ・コーラ社から提供された3本と、児童が持参した2本を使用しました。

また、このラベルには英語、韓国語、中国語の説明が入っており、日本人観光客だけでなく、外国人観光客にも伝わる工夫がされています。

3 砂を詰める



玄関へ移動し、シャベルと漏斗を使ってペットボトルに砂を詰める作業を行いました。児童たちは楽しみながら取り組み、約200本の砂入りペットボトルをあっという間に完成させました。

制作した5本のうち1本は記念に持ち帰りました。完成したペットボトルを手にした児童たちからは、活動への満足感や達成感が感じられました。

4 完成！



今後の取り組み

来年2月、児童たちは今回制作した砂入りペットボトルを使い、通学路で砂をまいて滑り止め効果を体験します。

さらに観光エリアで観光客にペットボトルを配布し、安全・安心な冬道歩行をサポートする取り組みを実施する予定です。

また来年、元気にお会いできることを楽しみにしています。

活動を終えて



　砂入れ作業で使用する砂やブルーシートなどの資材は、宮本土建工業株式会社の皆さんにご協力いただきました。
　普段は地元の国道の維持工事や除雪作業を行い、地域の暮らしを支えています。

　作業終了後、児童たちを代表して2名が、「スライド授業で道路について知れて砂をまくのが大事だと思いました。」「2月には観光客にたくさん渡して喜んでもらいたいです。」と感想を話してくれました。





　砂入りペットボトルを制作した児童たち、ご協力いただいた北海道コカ・コーラリテール＆ベンディング（株）と宮本土建工業（株）の皆さん、小樽開建職員で記念撮影をしました。